

移植部

10月は国が定める臓器移植普及推進月間で、大腎協では毎年10月の第1日曜日を中心に腎移植推進キャンペーンを展開していますが、これとは別に、移植部活動として大阪府の担当者と共同で臓器移植推進普及キャンペーンも行っています。

■ 御堂筋 kappo

2011年10月9日、御堂筋が歩行者天国となる「御堂筋 kappo」の当日、淡路町NMプラザ前にブースを設置し、正午から午後4時まで、キャンペーンを行いました。参加者の合計は24人、そのうち大腎協からの参加者が7名でした。

リーフレット、ティッシュ、ドナーカードのセットを6000部、花の種4000袋、風船600個を配布。会場では、大阪府の健康福祉部の職員がキャンペーン開始直後から終了まで、「モッピー」の着ぐるみを着て陽気なパフォーマンスを展開してくれました。モッピーは「大阪府の鳥」の百舌鳥（もず）をデザインしたキャラクターで、家族連れの通行者に大人気。幅広い年齢層に移植に関して興味を持っていただけました。移植について一般の方の意識も高まってきていることも実感できました。



「2011.10.9 御堂筋 kappo」

■ 万博記念競技場

例年 9 月または 10 月に、サッカー J リーグ「ガンバ大阪」の試合が行われる吹田市の万博記念競技場前で、臓器移植推進キャンペーンを行っています。2011 年は時期が少し遅くなり 11 月 26 日の実施となりました。当日は、試合前の午前 10 時から午後 2 時まで、テントを設置しキャンペーンを行いました。大阪府職員や日本移植者協議会の会員などに大腎協からの 4 名をあわせ、計 8 名が参加しました。ドナーカード 1500 部とともに、花の種 1500 袋もあわせて配布。ガンバ大阪が優勝争いをしていてホーム最終戦ということもあり、試合開始まで大変な人出で、最終的に発表された来場者数は約 1 万 8000 人でした。

ドナーカードにはガンバ大阪のマスコットキャラクターがデザインされていることもあり、多くの方が興味を持って受け取ってくれました。「ドナー登録していますよ」という声もかけていただきました。さらに周知が進むように、今後もキャンペーンを継続して実施していくことが大切だと感じました。



「2011.11.26 万博記念競技場前」

(報告：移植部部長 / 古川 洋介)